

## 1. 入国審査・保安検査の合理化・迅速化と接遇向上に向けて

今後増加していくことが見込まれる訪日外国人旅行者等もふまえ、入国審査官の増員や、各地で「バイオカート」の導入が進んでいる一方で、日本人の出入国手続きについては、さらに合理化・迅速化を図ることができる考える。

現在、一部の空港で導入されている「自動化ゲート」については、成田第3ターミナル、新千歳、福岡、那覇、など国際線旅客が多い空港への早期導入を行うとともに、事前登録の簡素化や対象者への周知等、利用促進に向けた対応を図られたい。また羽田空港で導入されている「顔認証ゲート」については「自動化ゲート」よりもさらに利便性が高いことから、成田・関西両空港など国際線主要空港への拡充を図られたい。

なお、訪日外国人旅行者にとって「入国審査官」は初めて接する日本人であることも多く、その接遇向上は日本の「良い第一印象」にもつながっていく。現在、新規採用者向けには接遇関係の研修を行っているとのことだが、関係するすべての職員にも対応されるよう要請したい。